

庭の柿の木が大変。お宅は大丈夫ですか！

～柿の病気、^{まるほしらくよう}円星落葉病～

南信農業試験場

はらはらと散る柿の葉に、深まりゆく秋を感じる方も多いでしょう。でも、その原因が柿の病気だとしたら？ そこで今回は、落葉を起こすカキ円星落葉病をご紹介します。

柿がこの病気にかかると、9月頃、葉に丸い病斑ができ、黄葉して落葉します（写真1、2）。症状がひどい場合は、その後果実が軟化したり落果したりして、収穫できなくなることがあります。柿の落葉が早いと感じたら、この病気を疑ってみるとよいでしょう。

この病気を防ぐには、どうしたらよいでしょうか。一番効果的な方法は農薬散布です。農薬ラベルを見て、柿の「落葉病」に登録のある農薬を選び、農薬ラベルの記載に従って散布します。ポイントは散布時期、6～7月頃に1・2回、展着剤を加え散布します。

農薬を使いたくない方には、次の方法をお勧めします。一つ目は落ち葉の除去です。この病気は、春になると落ち葉に残った病斑から飛び出す胞子で感染します。そこで感染源の落ち葉を集めて埋めるなどすれば、発病を減らせます。ただ、隣の柿が円星落葉病に感染していると、そこから胞子が飛んでくるため、落ち葉を除去しても発病が減らない場合があります。一説には、胞子の飛散する距離は19m以上とされています。

二つ目の方法は窒素肥料の施用です。肥料を適量与えると、葉が青々として発病を遅らせることができます。発病・落葉の時期を遅らせることで、葉の光合成が遅くまで続き、果実の品質も良くなります。「市田柿」では、1樹あたり窒素500g相当量が適量とされています。落ち葉の処理と合わせて実施するとより効果的です。

最近、県内各地から、この病気と思われる問い合わせが増えています。お宅の庭の柿の木も、もしかしたら円星落葉病に感染しているかもしれませんよ。



写真1 葉の病斑



写真2 多くの葉が感染し落葉した様子

担当者	萬田 等	電話番号	0 2 6 5 - 3 5 - 2 2 4 0
-----	------	------	-------------------------